

令和2年度 福岡女子商業高等学校事業計画書

1、施設の概要

学校名	所有区分	郵便番号	学校(会場)所在地	電話番号	FAX番号
福岡女子商業高等学校	法人所有	811-1203	福岡県那珂川市片縄北1丁目4番1号	092-952-2231	092-952-5934

2、学生の概要

(1) 設置課程・学科・収容定員・在籍者数一覧(令和2年度3月11日現在 1年は見込数)

大学科	学年	学科	コース	定員	在籍数	収容率(%)
商業	1年	商業系	特進コース	30名	30名	100%
			商業コース	210名	60名	28.6%
	2年	総合ビジネス科	進学・高資格取得コース	30名	27名	90.0%
			総合ビジネスコース	130名	34名	26.2%
		情報ビジネス科	情報ビジネスコース	80名	35名	43.8%
	3年	総合ビジネス科	進学・高資格取得コース	30名	22名	73.3%
			総合ビジネスコース	130名	54名	41.5%
		情報ビジネス科	情報ビジネスコース	80名	40名	50.0%

(2) 令和2年度入学者予測数・令和元年度卒業生数・退学者数・除籍者数一覧

	入学者数	編入者数	卒業生数(終了者数含)	退学者数	除籍者数	増加予測
商業	90名	0	97	9	0	-7

3、教職員関係

(1) 令和2年度管理職の概要

職名	氏名	備考（新任・留任等）
学校長	柴田 晴夫	留任
教頭	澤井 慎治	新任
事務長	村上 道彦	留任

(2) 令和2年度教職員の概要

		合計（人）
教員	本務	27
	非常勤	12
職員	本務	2
	兼務	1（事務長）

4、事業の概要

(1) 事業の概要

本校は、私学に移管して3年目が終了した。そこで4年目となる本年度からは、次のステージへのステップアップと学校運営をすすめてICT教育を基盤に商業教育のさらなる特色化を図るとともに、新コースの創設や第2体育館等の施設の充実を活かした教育活動、さらには地域貢献に取り組み、中学生にとって魅力ある教育活動を展開し、入学生の増加を図る。

(2) 主な事業の目的・計画

年度	事項	概要	進捗状況
29～	ICTの活用の深化 (授業の質の向上)	<ul style="list-style-type: none"> 3年間クロムブックを活用した学習活動を含めた教育活動全般での効果的な活用を研究し、活用の日常を目指し一定の成果が見られた。今後は授業の質を向上させるため、主体的で深い学び、協働的な学びとなるよう授業の質を向上させる手立てを研究する。 教職員の働き方改革に伴って、業務効率化のためのクロムブックの活用を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年間毎年10月に「ICT活用公開授業」を実施、各活用事例を基に公開授業を実施し、近隣の中・高の先生方に昨年から一歩進んだ活用方法を参観してもらった。 オンライン教材(スタディーサプリ)を全クラスに導入し、授業強化と家庭学習の充実のため学習全般に利用した。
30～	特進コースの充実	<ul style="list-style-type: none"> 進学希望の生徒の増加に伴い、国公立大学及び地元難関私立大学への進学を目指すコースを新設し、推薦試験以外に一般入試による進学ができる指導体制を確立する。これにより、商業の強みを生かしながら、進学・就職の両道をめざせる学校として入学生の増加を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度、特進コース2年目となり、4年制大学見学・体験を6回実施したり、他校特進クラスとの合同授業を実施したりした。
30～	実践的コミュニケーション力につながる英語教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> グローバルな視点で活躍する人材を育成するため、英語研修を取り入れた就学旅行の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の修学旅行は3コース選択制で実施した。平成30年度度の22コースにオーストラリアパースのホームステイを加えた。 <ul style="list-style-type: none"> ①国内 福島イングリッシュビレッジ 65名 ②海外 フィリピン セブ島 20名 ③海外 オーストラリア パース 29名 令和2年度も引き続き選択制3コース修学旅行(語学研修)を実施する。海外での現地の方々との交流や様々なプログラムが好評だったことから海外希望者を増やす。
1～	ビジネスビューティコースの新設	<ul style="list-style-type: none"> 昨今の美に関する需要の拡大に対応して、「美」に関する学習をしてビジネスに関する課題を発見し、将来起業できる力を養うことを目的に新たに4つ目のコースを新設する。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の3年生課題研究において、ビジネスビューティコースを試行した。 ネイルの成果を掲示したり、ハンドマッサージを介護施設で実施したりした。また、ネイル検定により2名が資格を得た。 令和元年度内に専門が学校との連携も検討した。
1～	福大との連携	<ul style="list-style-type: none"> 企業理念や経営理念を取り入れた女子商マルシェの見直しを福岡大学商学部との連携を図り研究する。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間6回の福岡大学生による特別授業を実施した。その成果を12月に行われた商業オリンピックで発表した。

1～	第2体育館の活用及び運動場照明施設の取り付け	・昨年6月完成の第2体育館や令和2年度修繕・設置予定の照明設備のある運動場を広くスポーツ団体や希望団体へ貸出し、スポーツの振興や地域の活性化に貢献する。	・地域のスポーツ少年団を招いて第2体育館でハンドボール教室を実施した。 ・近隣中学校ハンドボール部の練習会場として貸出をした。
2～	通学利便性向上のためのスクールバスコース拡充	・現在のスクールバスの1コース（東区方面）に加えて西方面の生徒の通学を支援するコースの新設を検討し施行する。	・令和元年度内にコース拡充によるスクールバスの購入とドライバーの確保の検討をした。

(3) 施設・設備の整備計画

- ・本校は伝統的に部活動が盛んで、常に県大会上位を占める活躍をしている部活動がある。特にハンドボール部は過去全国大会に出場した経験もあり、今年度もベスト4に入る活躍を見せている。また、全日本チームの主将を務める永田選手は本校の出身者である。
- ・令和2年、授業料に関しては、就学支援金の制度改定により変更した。

(4) 卒業生数、進路状況

卒業生数	就職			進学			家事手伝い	未定
	学校紹介	家業	公務員	四大	短大	専門学校		
97	38	0	1	13	12	30	0	3

(5) 生徒の就職、進学の状況

求人約300社以上、その中から厳選して200社程度を生徒に紹介。就職率100%の学校として中学校に定着している。また、今年度は就職先とのミスマッチを防ぐため、生徒が希望する企業へ就職開拓を実施し進路実現へつなげた。

進学も地元国立大学、私立大学等へ毎年進学しているが商業高校は即就職というイメージが強く、今後進学面の強化と併せ広報が必要である。

(6) 教員の採用・退職計画

年度	事項	概要
平成30	教職員採用（常勤講師10名） 転退職（専任3名、講師10名 計13名）	専任19名、常勤講師15名、非常勤講師9名
令和元	教職員採用（常勤7名）	専任17名、常勤講師9名、非常勤講師12名
令和2	教職員採用（常勤講師5名） 転退職（専任2名、教師7名 計9名）	専任20名、常勤講師9名、非常勤講師12名

(7) 今後の課題

特色あるコース（特進・ビジネスビューティー）の周知を図り、生徒数の確保に向けた広報宣伝活動の充実と併せ、全職員の担当中学の分担や専従広報職員の配置を検討していく。部活動や特色ある教育活動、さらには8大接客用語を中心とした出前授業などの広報の充実に努め、より一層の生徒確保に努める。